



チャレンジスクールえーる+

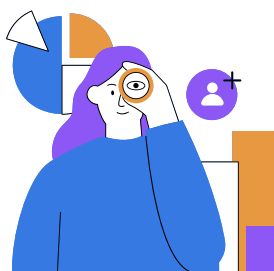


支援プログラム5領域



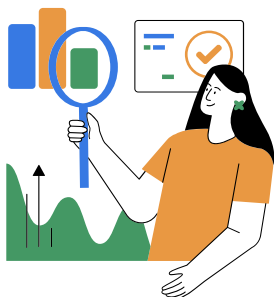
1 健康・生活

- ・本人のスキルや成長に合わせた個別のスケジュール、ワークシステム、コミュニケーションカード、手順書等の視覚的な情報提供
- ・保護者や関係機関からの情報収集（学校行事や日常生活での変化、日課、健康状態、服薬など）を基にした活動の組み立て
- ・ストレスに対する個別の対応
- ・外出・散歩・買い物支援



2 運動・感覚

- ・散歩やストレッチの実施
- ・買い物など近隣への外出支援
- ・公共の交通機関を使用した外出支援
- ・過敏又は鈍麻の感覚の程度を情報共有
- ・個別のカットアウトジグ等の自助具や道具を使用した作業の実施
- ・感覚グッズの使用や目の動きなどを支援する課題
- ・パーテーションや個室の使用



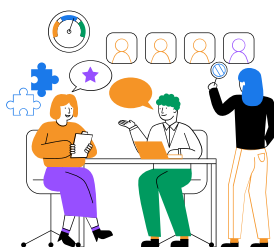
3 認知・行動

- ・個々に合わせた視覚的な情報の提示（スケジュール、手順書、コミュニケーションボード等）等の構造化による環境調整
- ・個々の意思を尊重した支援
- ・自立課題（分類・軽量・組み立てなど）による支援
- ・将来の実用的な活動に合わせた作業
- ・フローチャートやワークシートを用いた学習



4 言語・コミュニケーション

- ・コミュニケーションボードやカード、文字盤、会話図表P E C S等の視覚的なツールの使用
- ・1対1の個別の時間での対話
- ・フローチャートやワークシートを使用した行動の振り返り
- ・小集団での活動（ゲーム会や女子会等）



5 人間関係・社会性

- ・対応するスタッフの写真提示等の構造化による環境調整
- ・1対1の個別の時間での対話
- ・フローチャートやワークシートなど視覚的な提示
- ・小グループでの活動（ゲーム会、女子会、外出支援、ボランティア活動、研修スタッフの仕事等）